

実証実験モデルイメージ

[参考1]

1. 趣 旨

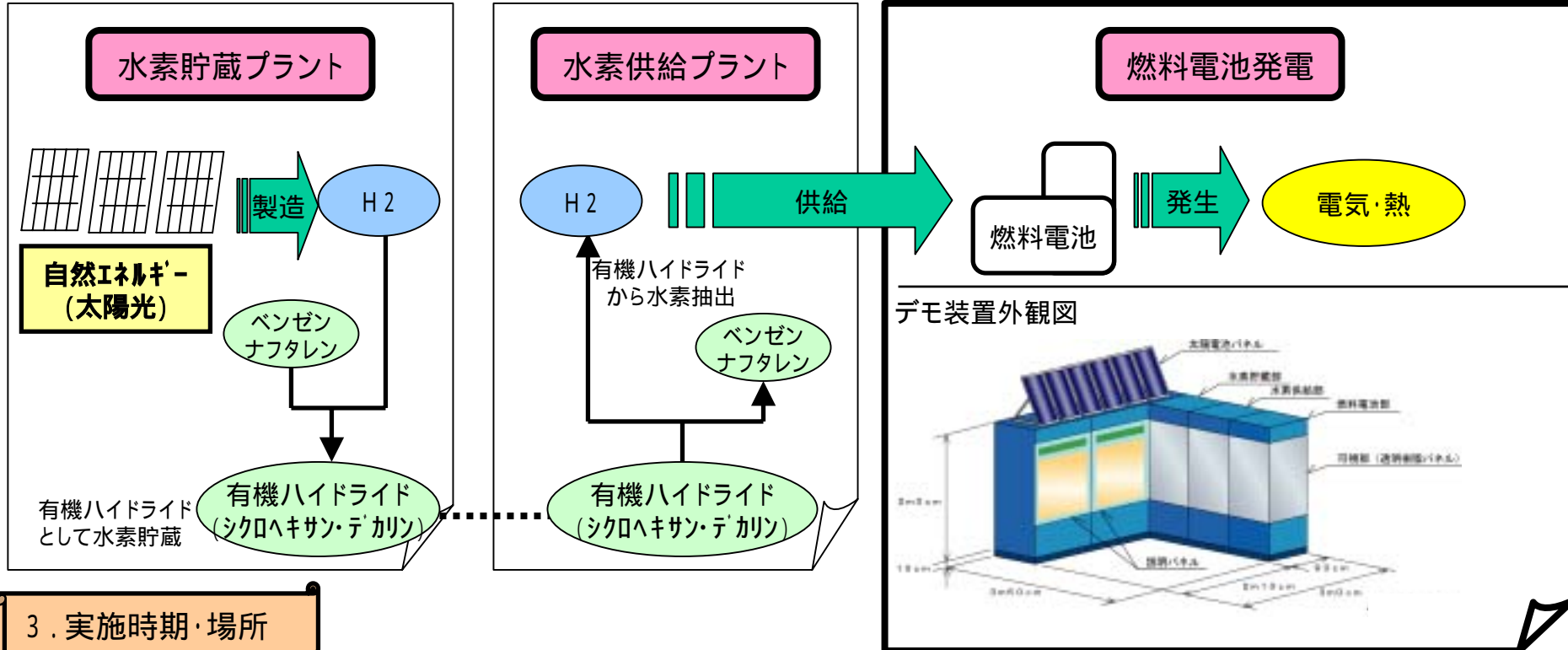
北海道大学の有する有機ハイドライド活用技術をコア技術として、その活用に向けた基礎的実験を行うとともに、燃料電池の稼働デモンストレーションを行う公開型の実証実験を実施。

2. 実験の概要

水素貯蔵プラント: 自然エネルギー(太陽光)から水素を製造、その水素を有機ハイドライドとして貯蔵。

水素供給プラント: 有機ハイドライドから改質触媒により水素を取り出し、燃料電池に供給。

燃料電池発電: 燃料電池の運転による発電と発生電力及び熱の表示。



3. 実施時期・場所

- ・実施時期 平成14年7月27日(土)～8月11日(日)
- ・実施場所 サッポロさとらんど(札幌市東区)

説明パネル: 燃料電池及び有機ハイドライド活用原理の説明
燃料電池運転状況(電力量・水温)の表示